

## 建材・住設ニュース

### 外装材

#### 「RS バイザー RS-K 型」新発売

低価格・アルミ軽量ひさし ダイケン

ダイケンは各部材の形状を一新し、徹底したスリム化・コストダウンを行い、従来よりも大幅に価格を下げたアルミ軽量ひさし「RS バイザー RS-K 型」を2010年1月18日より発売を開始した。アルミ軽量ひさし「RS バイザー RS-K 型」は、スリム化・コストダウンを行い低価格でありながら、同社独自の嵌合形状により高強度を実現しているのが特長。ひさし本体の内側には発泡ポリスチレンを装着しているため雨音を抑える静音効果や、結露を軽減する効果がある。ひさし先端は樋付き・樋無しタイプがある。近年、ひさしは遮光・遮熱効果により室内の快適性と冷房機器の効率を高め、省エネに貢献することで“エコ商品”として注目を集めており、同社ではこの低価格ひさし「RS-K



型」の発売を機に、さらなるひさしの普及に取り組んでいく。サイズは出幅600～1,000mm(1mm単位で対応可能)、幅100mm単位での対応。規格色はシルバー、ステンカラー(複合被膜)。価格例は、出幅600×幅900mmの場合、46,000円/台(消費税、運賃、取付部品、組立施工費は含まない)

主な特長は次のとおり。

- ひさし先端は樋付き・樋無しタイプがある。
- ひさし本体の連結がスライド式で、取付・施工が簡単。
- 同社独自の嵌合形状により高強度を実現。
- ひさし本体の内側に発泡ポリスチレンを装着しているため、雨音・結露を軽減。

### シートシャッター

#### 業界最高の気密性実現

「スムーザー RA-1AT」発売 ユニフロー

ユニフローは、気密性の高い高速シャッター「スムーザー RA-1AT」(写真)を1月初旬から新発売した。屋内に設置する製品で、食品メーカーの工場などで使うことを想定した。初年度の販売目標は500台。参考価格はW3,000×H3,000mmで742,000円(ユーザー価格、本体標準仕様、一点押しボタンスイッチ含む。消費税・設置工事費・諸経費別途)。「スムーザー RA-1AT」の有効開口幅はW800～3,000mm、有効開口幅H900～3,000mm、価格はオープンとした。同製品は、密閉度が確保しにくいとされるパイプ式シートシャッターながら、まぐさ部、レール部に密閉性を高める気密ガasket

## 建材・住設ニュース

を備え、筐体の設計を見直したことで、シートシャッターとしては業界で初めてJIS規格A-3等級の基準を満たす気密性能を実現した。JIS規格が定義する気密性能はシャッターの隙間からの「面積 $1\text{m}^2$ 当たり1時間の空気の漏出量」を基準とする等級で表すが、「RA-1AT」はJISA 1516（建具の気密性試験方法）に基づく試験により、「圧力差 $10\text{Pa}$ 時、通気量 $8\text{m}^3/\text{h}\cdot\text{m}^2$ 以下（1時間で $1\text{m}^2$ あたり $8\text{m}^3$ 以下）」というA-3等級の数値を満たしている。また、屋内使用に特化し、最小で幅 $800\text{mm}$ 、高さ $900\text{mm}$ という開口から製作可能とした。本体ボックスの高さも $250.4\text{mm}$ という業界でもトップクラスのコンパクト設計。工場内においては人やフォークリフトなどの出入りのほか、ベルトコンベアやAGV（無人搬送車）のラインとの連動にも適している。電源部は標準で単相AC $100\text{V}$ とAC $200\text{V}$ の両方に対応しているため、家庭用、商用どちらの電源でも使用可能で、設置場所を選ばない。近年、食品製造業をはじめとする高レベルの環境管理が必要な工場を中心に、空調環境の維持、防虫・防塵効果の面か



ら、全閉時にシャッターボックスやサイドレールよりの空気漏れが少なく密閉性が高い「高気密」シートシャッターのニーズが高まっている。「スムーザー RA-1AT」は、JISが規定する「A-3等級」に相当する気密性能を実現した。これは一般サッシ・ドア同等の性能であり、シートシャッターとしては業界初、業界最高となる。従来、同社スムーザーのようなパイプ式機種（シート部に骨材があるタイプ）は、パイプレス機種（シート部に骨材がないタイプ）と比べて構造上機器の密閉度を確保することが難しいとされてきたが、「RA-1AT」は、室内外の圧力差や風に対する保持力が高いパイプ式の利点そのままにパイプレス機種以上の気密性能を実現した。同社は業界トップシェアのスイングドアやエアタイトタイプのスライドドア（鋼製引戸）に今回の「RA-1AT」を加え、高気密建具の品揃えを拡充することで、気密性が必要な工場に対して総合的に提案していく。

### サッシ

#### 防音・断熱内容「インプラス」強化 複層ガラス用障子追加 トステム

トステムは、簡単・手軽に二重窓にできる防音・断熱内容「インプラス」による省エネ対策をより強化させるため、引違い窓タイプに新たに「複層ガラス用障子を追加し、また、ガラス組込み完成品では、「遮熱高断熱型複層ガラス」と「高断熱型複層ガラス」を組み込んだ完成品を追加した。さらに、全タイプにインテリアトンドを反映した新色「キャラメルウッドG」

## 建材・住設ニュース

動部はDCモーター駆動、電源はAC100V。折れ戸の隙間は2mmに設計、挟み込み防止機能が働く。既存ドア枠を利用し後付けもできる。販売は代理店制をとり、関西地区を皮切りに全国へ展開していく。マンションなどの新築物件向けに壁の中に埋め込む内蔵型を開発中で4月発売を予定している。また、10月には住宅玄関用自動ドアの発売を予定している。

### サッシ

#### トステム、韓国でアルミサッシ生産 3月に工場着工、8月本格稼働

トステムは、韓国のLGグループとの合弁会社が初めて工場を設立すると発表した。現地の高層ビルやマンション向けに、アルミサッシやカーテンウォールを生産する。投資額は100億ウォン(約8億円)。韓国では樹脂サッシが主流だが、建築物の高層化が進み、アルミサッシの需要が高まると判断した。忠清北道清原(チョンウォン)郡の梧倉(オチャン)外国人投資地域内に建設するこの工場は、高層ビル・マンション用のアルミサッシならびにカーテンウォールの生産拠点として、2010年3月着工、8月操業開始の予定。1月7日、韓国の忠清北道庁で、鄭宇澤(チョンウテク)道知事とトステム大竹俊夫副社長、LG戸システム朴承培CEOが出席し、外国人投資地域への投資に関する協約について調印した。トステムとLGハウシスでは、今後の韓国市場を見据え、高層ビル・マンション用のアルミサッシ、カーテンウォール等の製造・販売を目的に、09年4月に合弁会社LGトステム

を設立した。今回の工場設立は、今後増加が見込まれるアルミサッシ需要へ対応するための供給能力の拡大を目的としている。今後、LGトステムでは、トステムのアルミ建材の製造技術と、LGハウシスの韓国市場での販売力を融合させ、韓国における販売拡大を目指していく。

### シャッター

#### 製造・保管・物流施設向け新カタログ 完成 文化シャッター

文化シャッターは、工場や倉庫、物流施設向けに、衛生管理や省エネ、バリアフリーなどのニーズへの対応と作業の効率化の観点から、働く人と製造・保管される商品に最適な快適環境を提案するための新カタログ「製造・保管・物流施設向け製品 ～人と商品にベストな環境を～」をこのほど完成させた。新カタログでは、「生産ラインエリア」「搬入出口/外壁開口エリア」「事務棟内エリア」「事務棟玄関エリア」の4つのエリアに分けて施工事例を紹介しており、設置の目的やユーザーの要望に対して、どのような機能の製品をどう活用してもらえるかを、豊富な施工写真とあわせてわかりやすく解説した。用途別カタログとしては「住宅ガレージシャッター」「高齢者集合住宅および施設向け製品」に続いて第3弾となる新カタログ「製造・保管・物流施設向け製品」を、事業主や工場の設備担当者向けの提案ツールとして、積極的に提供していく。

#### 【主なカタログ掲載商品】

〈生産ラインエリア〉

## 建材・住設ニュース



- 高速シートシャッター「エア・キーパー大間迅」
- ビニールカーテン「エア・セーブ」  
〈搬入出口／外壁開口エリア〉
- オーバースライディングドア断熱仕様
- ドックシェルター「BSシェルター」  
〈事務棟玄関エリア〉
- アルミスタッド式可動間仕切り「プレフリー」
- 自動閉鎖装置付引き戸「カムスライダー」
- トイレブース「プレクリン」

### ドア・パーティション

#### 連結子会社2社を合併 文化シャッター

文化シャッターは1月15日の取締役会で、連結子会社、文化パネル工業、鹿島産業を合併させることに決めた。合併は平成22年4月1日を予定している。中核事業であるドア・パーティション事業の強化拡大策として、市場変化への対応力を高め、顧客ニーズへのきめ細かい対応を図るため、西日本エリアにおける供給体制を整備することとした。文化パネル工業を存続

社とする吸収合併方式で鹿島産業は解散する。文化パネル工業は資本金2,000万円、可動間仕切、トイレブース、金属製ドアの製造、販売、鹿島産業資本金3,300万円はスチールドア、軽量ドア枠の製造、販売を行っている。合併後は資本金2,000万円、本社は大阪市吹田市の文化パネル工業に置き、社長には文化パネル工業の森本準一氏が就任する。

## 住宅

### トステム「家のぬくもり調査」

トステムはこのほど、住宅の断熱、防音、結露対策に有効な防音・断熱内窓「インプラス」の普及促進活動の一環として、自宅の住環境について把握することを目的に、全国の既婚男女520人を対象に「家のぬくもり調査」を実施した。今回の調査では、家庭における“家族のあたたかさ”と“自宅（室温）のあたたかさ”、また、家のまわりの“音”について調査を実施した。

#### 【主な調査結果】

- ◆ 8割強の人が、家庭は「あたたかい（ホットな）家庭」と回答
- その理由として、「夫婦が円満だから」（68.9%）、「家族の仲がいいから」（60.5%）、「家族と一緒に夕飯を食べるから」（39.0%）
- ◆ 自宅（室温）は「あたたかい家」78.1%、「さむい家」21.9%
- あたたかい理由：「日当たりが良いから」（66.3%）、さむい理由：「家が古いから」（35.1%）
- ◆ 「近所から聞こえる音で、『聞こえると気になる』または『聞きたくない』音」は、「工事の音」